

## 全文起こし及び日本語の内容ガイド文作成に係る留意事項

### 【全文起こし及び日本語内容ガイド文作成】

#### 1 常用漢字を使用する（原則）

- 常用漢字にない場合は、ひらがなにする

#### 2 「ひらがな」と「カタカナ」の使い分けについて

ア 漢字はそれぞれの文字が意味を持ち、ひらがな・カタカナは音を表す文字である。

イ 漢字は主に名詞・動詞・形容詞・形容動詞・副詞の語幹に使う。（文のメインの部分）

ウ ひらがなは主に形容詞や動詞の活用語尾、接続詞・感動詞・助詞・助動詞の表記に使い（文の補助的な部分）、カタカナは主に外来語や擬音語、技術・科学用語（生物の名前）の表記に使う。

（例）

火傷→やけど

怪我→けが

膿→うみ

ガラスの破片

大八車がガタガタと揺れ動くたびに

蛙→カエル

蛆→ウジ

紫陽花→アジサイ

ただし、常用漢字にあるもので、比喩、修飾語や総称で使う場合は漢字でもよい。

桜、菊、牛、犬、虎、猿、蚊、など

エ 動植物を比喩的に使う場合は、ひらがなにする。

（例：きのこ雲、いばらの道）

#### 3 数字はアラビア数字を基本とする。ただし、

ア 数字が固有名詞の一部となっている場合や、単語としてアラビア数字が不適当な場合は漢数字

（例：広島第二中学校、大手町三丁目、八丁堀、業務第一課、第一次世界大戦）

イ 数量的に意味が薄くなった語に用いる場合は漢数字

（例：一般、一部分、一部紹介、四方八方）

ウ 和語の数詞及び慣用的な語に用いる場合は漢数字

（例：九死に一生、一緒、一人ひとり、一休み、二間つづき、三月<sup>みつき</sup>ごと、百万長者、五十歩百歩、世界一、零下3度）

エ 概数を示す場合は漢数字

（例：数十個、何十人、十数人、二、三日）

オ 数の単位として用いる場合（原則として万以上の数）は漢字

（例：120万、10億）

- 4 単位はカタカナとする  
(例：爆心地から約1.5キロ、375グラム)
- 5 数字・カタカナ・記号・アルファベットは全角とする  
(例：B29)
- 6 略語を使用する場合は、丸括弧（ ）は全角を使用する  
(例：(公財)広島平和文化センター、(株)日本電気)
- 7 機種依存文字や環境依存文字は、インターネットに掲載する際に文字化けするため、使用しない。  
(例：①②③、(1)(2)(3)、ⅠⅡⅢ、(株)有④、・・・)
- 8 カギ括弧（「 」）内の最後には、句点（。）をうたない  
(例：「娘が柱の下敷きになって出せないのです。助けてください」と言って、・・・)

#### 【日本語内容ガイド文作成】

- 1 方言は原則修正する  
※「 」カギ括弧内の会話文で、標準語にすると不自然になる場合は方言のままでも可（語尾など）
- 2 文末は「です・ます」体に統一する ※「 」カギ括弧内を除く
- 3 現在、広島市が使用している表現や正式な表現を使用する  
(例：原爆資料館→広島平和記念資料館  
平和公園→平和記念公園  
語り部→被爆体験証言者  
原爆手帳→被爆者健康手帳、など)
- 4 証言者が、差別用語等の不適切な表現を用いた場合は、適切な表現に言い換えて表現する。  
(「記者ハンドブック」(一般社団法人共同通信社編集)の差別語、不快用語に掲載されている事例などに留意する。  
(例：頭が変になって、奇形児、百姓、外人、など)
- 5 証言ビデオ内の小タイトルも日本語内容ガイド文の中に含む。